

出雲文化活用プロジェクト 企画展示

江戸力

～手銭家資料コレクション～

資料から再発見する江戸の底力
江戸時代、出雲大社と稲佐の浜を結ぶ「神迎えの道」沿いで商家を宮んでいた手銭家には、書画や工芸品とともに、おおくの文芸資料も伝わっています。

手銭家蔵書

から見る

出雲の文芸

その研究を通じて見えてきたのは、和歌や俳諧など文芸活動に熱心に取り組む、これまで知られていなかった大社の人々の姿です。江戸時代の大社の町で行われていた、どこにもまけない、豊かで活気に満ちた文芸活動をご紹介します。



2020年1月15日(水)より 2月14日(金)まで

休館日：1/18,19, 2/8,9,11

島根大学附属図書館 1F 地域コミュニティラボ
(松江キャンパス)

入場無料

主催：出雲文化活用プロジェクト

公益財団法人手銭記念館 / 島根大学附属図書館 / 島根大学法文学部山陰研究センター

お問い合わせ

島根大学附属図書館 TEL 0852-32-6086

手銭記念館 TEL 0853-53-2000

*出雲文化活用プロジェクト

手銭家所蔵資料の調査研究、翻刻、デジタル化を進め、その成果を公開することによって、江戸時代における出雲大社周辺地域の生活文化や文芸活動の諸相を広く地域市民と共有することを目的として、(公財)手銭記念館、島根大学法文学部山陰研究センター、島根大学附属図書館が連携して立ち上げたプロジェクトです。2014年度から毎年文化庁等の助成も受け、事業を進めています。

